科目名	64.子どもと病気の看護				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 (15時間)
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	さまざまな健康状態にある小児とその家族を対象に、疾病の状態に応じた看護について理解できる				
到達目標	1）さまざまな健康状態にある小児とその家族について、既習の知識を活かしてイメージを表現することができる 2）小児の疾患に応じた看護のポイントを知り、対象に適した看護実践方法を表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（２）　小児臨床看護各論　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	「子どもと病気の看護」ではさまざまな健康状態にある小児とその家族を対象に、疾病の状態に応じた看護を学びます。ここでは、小児特有の疾患の事例を通して病態・検査・治療・看護の視点で学びを深めていきます。実際に小児病棟に勤務している看護師より講義を受けるため、リアルな状況をイメージしながら進みます。既習の知識をもとに他学生とともに学びを深めていきましょう。また、子どもは予想外な行動に至る場合もあります。そんな時はどのように対処したのか看護師に聞いてみましょう。教科書には載っていないことも聞けるかもしれません。この科目で学ぶ内容が小児看護学実習で活用できるように主体的に学びを深めていきましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	疾病をもつ子どもの看護①	咳・発熱・脱水を伴う病気を患う実際の児と家族の様子 子どもと家族への看護を考える	講義
2	疾病をもつ子どもの看護②	アレルギー症状を伴う病気を患う実際の児と家族の様子① 子どもと家族への看護を考える	講義 演習
3	疾病をもつ子どもの看護③	アレルギー症状を伴う病気を患う実際の児と家族の様子② 子どもと家族への看護を考える	講義 演習
4	疾病をもつ子どもの看護④	食べて出す機能の障害を伴う病気を患う実際の児と家族の様子。子どもと家族への看護を考える	講義 演習
5	疾病をもつ子どもの看護⑤	チアノーゼ・不整脈や出血斑を伴う病気を患う実際の児と家族の様子 子どもと家族への看護を考える	講義 演習
6	疾病をもつ子どもの看護⑥	浮腫、血尿・タンパク尿を伴う病気を患う実際の児と家族の様子 子どもと家族への看護を考える	講義 演習

7	疾病をもつ子どもの看護⑦	心身のバランスを整える機能と動く機能の障害を伴う病気を患う実際の児と家族の様子 子どもと家族への看護を考える	講義 演習
7.5	疾病をもつ子どもの看護⑧	こどもの事故と看護子どもと家族への看護を考える	講義